

補助金交付申請書（様式4）記入例（1）

地域材使用に関する共通ルール、具体的取り組み内容が確認できるよう、使用部位、使用量、使用割合を記入してください。

- ・グループを通して、同じような形式でまとめてください。
- ・グループ内で、対象としている部位に違いがないが確認してください。

(様式4)

1戸の対象住宅につき1枚のシートを作成してください。2戸以上の対象住宅について申請する場合はシートを追加して作成してください。

地域材使用量計画表【補助金申請書】

対象住宅の建築主

建築主氏名 ◆田 ■郎、◆田 ●子
↑ 姓と名の間は文字の間隔を空けて記入してください。複数の場合、売買契約による住宅の場合は「売買」と記入してください。

地域材を利用する部材の使用量計画表 (注1,2,3)

共通ルールで定めた使用部位 (注3)	材積 (注4,5,6,7)				共通ルールで定めた使用割合、使用量					
	対象部位毎の使用量の合計(A)		左欄のうち「地域材」に該当する使用量(B)							
	合計	単位	合計	単位						
柱	3	8	2	m3	3	1	2	m3		
梁・桁	6	5	7	m3	3	4	2	m3		
土台	1	2	4	m3	0	0	0	m3		
合計	1	1	6	3	m3	6	5	4	m3	
対象木材の使用割合 (B/A×100)					5	6	%	主要構造材(柱、梁、桁、土台)の過半に地域材を使用		
共通ルールで定めた使用割合、使用量										
合計										
対象木材の使用割合 (B/A×100)										
仕上材					1	2	3	4	m2	仕上材に地機材を10m2以上使用
合計					1	2	3	4	m2	
対象木材の使用割合 (B/A×100)										

記入例 1

共通ルールの内容
 主要構造材(柱、梁桁、土台)の過半にグループ指定の地域材を使用し、柱は4寸角以上の材を使用する。

共通ルールや対象部位の集計方法に応じて部位名を修正してください。
 ・「梁」と「桁」を → 「梁・桁」に修正
 ・「柱」と「土台」だけに修正など

「0m3」であっても「0」と単位の「m3」を記入してください。

共通ルールで使用割合を定めている場合は、使用割合(%)を記入してください。小数点以下は切捨てです。

共通ルールの「仕上材」を記入。

共通ルールに応じて単位を記入してください。

共通ルールを記入してください。

記入例 2

共通ルールの内容
 仕上材に地域材を10m2以上使用する。

共通ルールに応じて単位を記入してください。

使用割合を共通ルールで定めていない場合は記入不要です。

(注1) 地域材使用に関する共通ルールを満たしていることが確認できるよう記入し、グループを通して、同じような形式でまとめてください。(使用部位は、共通ルールに合わせて修正、追記してください。)

(注2) 共通ルールで、主要構造材や羽柄材等、部位毎に「使用割合」や「使用量」を定めている場合は、共通ルールの内容に合わせて集計し記入してください。

(注3) 工法に応じた部位名を記載してください。在来工法の主要構造材(柱・梁・桁・土台)を他の工法で読み替える場合は、丸太組工法については、「使用する木材全量」で読み替え、2×4工法については、下表のとおり読み替えることとします。

在来工法	柱	梁	桁	土台
2×4工法	縦枿、上下枿	床根太、端根太 ※1	頭つなぎ	土台 ※2

※1 1階(最下階)床は含まれません。

※2 大引は含まれません。

(注4) 木材の使用量は、小数点以下第3位切り捨てとし、使用割合は小数点以下切り捨てとして記入してください。

(注5) 共通ルールで「全てに使用する」「過半に使用する」「○○%以上使用する」等、使用割合を定めている場合は、(A)欄には対象部位の木材の全使用量を、(B)欄には(A)欄のうち「地域材」に該当する木材の使用量を記入してください。

(注6) 共通ルールで「0m3以上使用する」等、使用量を定めている場合は、(A)欄は空欄とし、(B)欄に「地域材」に該当する木材の使用量を記入してください。

(注7) 共通ルールに応じて「単位」欄に、「m3」「m2」「枚」等の単位を記入してください。

在来工法等

(注) この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。

【H26】地域型住宅ブランド化事業 地域材使用量計画表

1枚に記載できない場合は、この様子を複数枚作成してください。

使用する様式は正しいですか。
 【H26】と記載されている様式を使用してください。

補助金交付申請書（様式4）記入例（3）

地域材使用に関する共通ルールの内容、具体的な取り組み内容が確認できるよう、使用部位、使用量、使用割合を記入してください。

- ・グループを通して、同じような形式でまとめてください。
- ・グループ内で、対象としている部位に違いがないが確認してください。

(様式4)

1戸の対象住宅につき1枚のシートを作成してください。2戸以上の対象住宅については申請する場合はシートを追加して作成してください。

地域材使用量計画表【補助金申請書記入例】

・対象住宅の建築主

建築主氏名	◆田 ■郎、◆田 ●子
-------	-------------

↑ 姓と名の間は文字の間隔を空けて記入してください。複数の場合は売買契約による住宅の場合は「売買」と記入してください。

記入例 5

共通ルールの内容
柱には杉の地域材を100%使用し、梁、桁には地域材を50%以上、土台と合わせて全体で70%以上の地域材を使用する。

・地域材を利用する部材の使用量計画表 (注1,2,3)

共通ルールで定めた使用部位 (注3)	材積 (注4,5,6,7)				共通ルールで定めた使用割合、使用量
	対象部位毎の使用量の合計(A)		左欄のうち「地域材」に該当する使用量(B)		
	合計	単位	合計	単位	
柱	3	8	2	m3	3 8 2 m3 杉を100%使用
梁・桁	6	5	7	m3	3 4 2 m3 3.42/6.57=52% ≥ 50%
土台	1	2	4	m3	
合計	1	1	6	3	m3 8 4 8 m3
対象木材の使用割合 (B/A×100)					7 2 % 柱・梁・桁・土台の70%に地域材を使用
下地材 (間柱・内部胴縁・天井野縁)					2 3 8 m3 下地材は間柱、内部胴縁、天井野縁に使用
仕上材(カウンター材)					1ヶ所 仕上材は1ヶ所以上(床材、壁材、カウンター材等)
合計					
対象木材の使用割合 (B/A×100)					%

部位ごとの共通ルールは、この欄に記載してください。共通ルールを確認する計算式を記入してください。

全体の共通ルールはこの欄に記入してください。

記入例 6

共通ルールの内容
下地材は間柱、内部胴縁、天井野縁に使用し、仕上材は1ヶ所以上(床材・壁材・カウンター材等)に使用する。

共通ルールで定めた部位のうち、対象とした部位を記入してください。

対象とするもの毎に共通ルールを記入してください。

(注1) 地域材使用に関する共通ルールを満たしていることが確認できるよう記入し、グループを通して、同じような形式でまとめてください。(使用部位は、共通ルールに合わせて修正、追記してください。)

(注2) 共通ルールで、主要構造材や羽柄材等、部位毎に「使用割合」や「使用量」を定めている場合は、共通ルールの内容に合うよう集計し記入してください。

(注3) 工法に応じた部位名を記載してください。在来工法の主要構造材(柱・梁・桁・土台)を他の工法で読み替える場合は、丸太組工法については、「使用する木材全量」で読み替え、2×4工法については、下表のとおり読み替えることとします。

在来工法	柱	梁	桁	土台
2×4工法	縦枿、上下枿	床根太、端根太 ※1	頭つなぎ	土台 ※2

※1 1階(最下階)床は含まれません。

※2 大引は含まれません。

(注4) 木材の使用量は、小数点以下第3位切り捨てとし、使用割合は小数点以下切り捨てとして記入してください。

(注5) 共通ルールで「全てに使用する」「過半に使用する」「○○%以上使用する」等、使用割合を定めている場合は、(A)欄には対象部位の木材の全使用量を、(B)欄には(A)欄のうち「地域材」に該当する木材の使用量を記入してください。

(注6) 共通ルールで「〇m3以上使用する」等、使用量を定めている場合は、(A)欄は空欄とし、(B)欄に「地域材」に該当する木材の使用量を記入してください。

(注7) 共通ルールに応じて「単位」欄に、「m3」「m2」「枚」等の単位を記入してください。

在来工法等

(注) この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。

【H26】地域型住宅ブランド化事業 地域材使用量計画表

使用する様式は正しいですか。
【H26】と記載されている様式を使用してください。

補助金交付申請書（様式4）記入例（4）

地域材使用に関する共通ルールの内容、具体的な取り組み内容が確認できるよう、使用部位、使用量、使用割合を記入してください。

- ・グループを通して、同じような形式でまとめてください。
- ・グループ内で、対象としている部位に違いがないが確認してください。

(様式4)

1戸の対象住宅につき1枚のシートを作成してください。2戸以上の対象住宅についてはシートを追加して作成してください。

地域材使用量計画表【補助金申請書】

・対象住宅の建築主

建築主氏名 **◆田 ■郎、◆田 ●子**

↑ 姓と名の間は文字の間隔を空けて記入してください。複数の場合、売買契約による住宅の場合は「売買」と記入してください。

記入例 7

共通ルールの内容
主要構造材(柱・梁・桁・土台)の50%以上に地域材を使用する。主要構造材と合わせて構造材全体で80%以上に地域材を使用する。

・地域材を利用する部材の使用量計画表 (注1,2,3)

共通ルールで定めた使用部位 (注3)	材積 (注4,5,6,7)				共通ルールで定めた使用割合、使用量				
	対象部位毎の使用量の合計(A)		左欄のうち「地域材」に該当する使用量(B)		対象部位毎の使用量の合計(A)		左欄のうち「地域材」に該当する使用量(B)		
	合計	単位	合計	単位	合計	単位	合計	単位	
柱	3	8	2	m3	3	8	2	m3	
梁・桁	6	5	7	m3	3	4	2	m3	
土台	1	2	4	m3	1	2	4	m3	
合計	1	1	6	3	8	4	8	m3	
対象木材の使用割合 (B/A×100)					7				2
主要構造材 (柱・梁・桁・土台)	1	1	6	3	8	4	8	m3	
2次部材 (母屋・棟木・大引・束)	6	3	5	m3	6	3	5	m3	
2次部材 (間柱・筋交等)	2	8	3	m3	2	8	3	m3	
合計	2	0	8	1	1	7	6	6	
対象木材の使用割合 (B/A×100)					8				4
合計									%
対象木材の使用割合 (B/A×100)									%

前段の共通ルールを記入してください。

共通ルールに応じて集計し、使用割合も算定してください。

後段の共通ルールを記入してください。

(注1) 地域材使用に関する共通ルールを満たしていることが確認できるよう記入し、グループを通して、同じような形式でまとめてください。(使用部位は、共通ルールに合わせて修正、追記してください。)

(注2) 共通ルールで、主要構造材や羽柄材等、部位毎に「使用割合」や「使用量」を定めている場合は、共通ルールの内容に合うよう集計し記入してください。

(注3) 工法に応じた部位名を記載してください。在来工法の主要構造材(柱・梁・桁・土台)を他の工法で読み替える場合は、丸太組工法については、「使用する木材全量」で読み替え、2×4工法については、下表のとおり読み替えることとします。

在来工法	柱	梁	桁	土台
2×4工法	縦枋、上下枋	床根太、端根太 ※1	頭つなぎ	土台 ※2

※1 1階(最下階)床は含まれません。

※2 大引は含まれません。

(注4) 木材の使用量は、小数点以下第3位切り捨てとし、使用割合は小数点以下切り捨てとして記入してください。

(注5) 共通ルールで「全てに使用する」「過半に使用する」「○○%以上使用する」等、使用割合を定めている場合は、(A)欄には対象部位の木材の全使用量を、(B)欄には(A)欄のうち「地域材」に該当する木材の使用量を記入してください。

(注6) 共通ルールで「〇m3以上使用する」等、使用量を定めている場合は、(A)欄は空欄とし、(B)欄に「地域材」に該当する木材の使用量を記入してください。

(注7) 共通ルールに応じて「単位」欄に、「m3」「m2」「枚」等の単位を記入してください。

在来工法等

(注) この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。

【H26】地域型住宅ブランド化事業 地域材使用量計画表

使用する様式は正しいですか。
【H26】と記載されている様式を使用してください。